

学校だより



川口市立元郷中学校
〒332-0003 川口市東領家1-8-3
TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222
令和2年3月1日 第349号
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/motogo-j/>

旅立ちの時

校長 大山 孝一

春は、『別れと出会いの季節』と言われています。今まで様々な行事や学習活動で、学校の中心となり、学校の顔として活躍してくれた3年生が、9年間の義務教育を修了し、令和2年3月13日に卒業します。卒業証書授与式は、3年生にとって最後の「授業」です。しっかりとした態度で臨み、最高の卒業式にしましょう。そして4月からは新しい環境の中で、限りない可能性を持っている生活がスタートします。元郷中学校教職員一同、これからも、ずっと、応援しています。がんばれ、3年生！

また1, 2年生の皆さんも、先輩たちからのよき伝統を受け継ぎ、それぞれ2年生、3年生になる準備をきちんと行ってください。そして、新しい1年生の面倒を見ながら、これからの元郷中学校が、より一層素晴らしい学校になれるよう、色々なことに頑張ってもらいたいと思います。期待しています。

思いやりの気持ちを、いつまでも

例え話です。二つの同じような集団があります。両方とも生活の条件は同じです。たくさんの美味しい食事を用意されています。ただ、食事をする時に、一つだけ守らなければならないルールがあります。それは、「1mもある長い箸を、長さいっぱいを使って食べなければならない。」という決まりです。

しばらく過ぎたころ、様子を見に行くと、一方の集団は、「全員の栄養が足りずにやせ細り、目が血走っている集団」になっていました。ところが、もう一方の集団は、「全員の栄養が足りた健康な状態で、笑顔があり仲の良い集団」になっていました。同じ環境や条件で生活していたのに、なぜこのような違いが出来てしまったのでしょうか。食事をする時の様子を見ると、一方の集団は長い箸を使って必死に他人より先に食べようとしていましたが、当然、箸が長すぎ食べられません。いらいらして目が血走り、栄養も摂れません。しかし、もう一方の集団は、長い箸を使って他人の口に食事を運んでいました。食べさせてもらった人は、食事をくれた相手の口に食事を運んであげていました。お互いに支えあって食事を摂り、健康で仲良く生活していました。

この話から、二つの集団の違いは、相手のために、という思いやりの気持ちがあるかないかの違いであることが判ると思います。集団の差は、「環境や条件ではなく、人の心の中にこそある。」のだと思います。自分のことしか考えない人には、相手に食べさせてあげるという発想は浮かばないのでしょう。人を思いやる気持ちを、いつまでも、持ち続けてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、あらゆる面からご支援・ご協力頂きましてまことにありがとうございます。心より感謝申し上げます。令和2年度も職員一同全力で取り組みますので、よろしく願い申し上げます。

校訓

責任 健康 感謝 協力 勉学 真剣

学校教育目標

- 自主的に取り組む生徒 【全体】
- 共に学び、共に伸びる生徒 【知】
- 思いやりのある生徒 【徳】
- 健康でたくましい生徒 【体】

元郷中で良かった～笑顔と規律と潤いのある学校～